

### 歳出予算事業概要書

款 項 目	02 総務費 01 総務管理費 01 一般管理費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	113000000						
					うち復活額	一般財源	所属課名	防災安全課							
		2,400	4,300	1,900	1,900	0	0	内線番号							
大 中 小 細 事業	045 自主防災組織育成事業 00 00 0							財源内訳		実施計画		実施計画計上額			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	0							
			0	0	0	1,900	0	0							
1. 事業の概要と必要性 (事業概要) 自主防災組織の活性化及び育成、また自主的な防災活動の促進を図る。 (補正理由) (財)自治総合センター所管の「平成19年度コミュニティ助成事業(自主防災事業育成事業)地域安心安全ステーション整備事業」の交付決定があったことによるもの。					節			本年度の財源内訳							
					区分		金額	財源	款	項	目	節	細	節	金額
					19	負担金補助及び交付	1,900	諸収	21	03	03	03	028		1,900
									自治総合センター助成金						
2. 根拠法令 災害対策基本法第5条第1項・2項、災害対策基本法第7条第2項															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
5. 本年度の計画効果 旗ヶ崎3区北自治会防災委員会 (現 状) 地域内に平成12年の鳥取県西部地震で大きな被害を受けた地域があったことや高齢者世帯の増加傾向に鑑み、地域としての対処策の確立が急がれる。 (事業効果) ハード面の充実を図ることにより、地区の防災力の向上が図られる。 永江7区防災会 (現 状) 本防災会は、平成17年7月に設立されたばかりで、まずは、災害時における避難誘導・救護面での体制整備の強化をはじめとするソフト面とハード面の両方の充実を図っていく必要がある。 (事業効果) 資機材の整備を図ることにより、地区の防災力の向上が図られる。					6. 財源の説明 財源内訳の積算基礎 1) コミュニティ助成事業(自主防災組織育成事業)地域安心安全ステーション事業 旗ヶ崎3区北自治会防災委員会 1,000,000円(防災資機材等整備) 永江7区防災会 900,000円(防災資機材等整備)										
					(参 考) 自主防災組織数 120団体(平成19年4月1日現在) 組織率 28.7%										
目的別 性質別															